

雲の上のまち



た報

けすばら



第5回龍馬脱藩マラソン大会（笑顔でスタート!）

第5回 龍馬脱藩マラソン大会 <P2>

第3回 栲原町芸術祭 <P4>

高陵消防連合大会・ソフトボール大会 <P7>

東京 雲の上の会来町 <P8> etc...

11 **2016**
平成28年
No.701
月号

●世帯数/1,813 (9月末)
1,812 (10月末)
●人口/3,651 (9月末)
3,644 (10月末)
○出生… 2 ○死亡… 8
○転入… 5 ○転出等… 7



第5回龍馬脱藩マラソン大会 RYOMA DAPPAN MARATHON 2016

梶原町制50周年記念 薩長同盟150年記念



今年も昨年同様、葦ヶ峠付近は寒い状態で小雨の降る天候の中、1361名の選手が脱藩コースを駆け抜けました。

龍馬脱藩マラソン大会は、梶原町の歴史的遺産である龍馬脱藩の道を利用し、地域住民及び関係団体並びに行政機関が協働し、町の宣伝や地域の活性化につなげることを目的として、平成23年度より開催しています。

【前夜祭】

10月8日(土)、参加選手相互の交流が図れるよう、選手や西宮市、東吉野村の来賓の方々約140名とスタッフによる前夜祭が行われました。

オープニングは、梶原高校デイスカバークラブによる津野山神楽の公演、その後のゲストとして迎えた西村知美さんと坂本雄次さん、そして前夜祭の司会を務めていただいたテレビ高知の藤崎アナウンサーとのトークショーでは、会場を沸かせるなど参加者全員が楽しく交流を深めました。

【大会当日】

9日(日)、朝から今にも雨が降りそうな曇り空の下、1都1道1府27県から1361名の参加を

いただき、盛大に第5回龍馬脱藩マラソン大会が開催されました。

開会式は、役場駐車場で行われ、第5回龍馬脱藩マラソン大会西川豊正実行委員長の開会宣言、矢野富夫名誉会長の歓迎あいさつに続き、友好交流協定を結んでいる西宮市産業文化局長田村比佐雄様、梶原町議会議長土釜清様から祝辞と参加者への激励の言葉をいただきました。最後に、選手宣誓は、フルマラソンに出場し、龍馬脱藩マラソン大会のスタッフでもある西村義幸さんが坂本龍馬から託された文を土佐弁で面白おかしく読み上げました。

また、来賓紹介では、ゲストの西村知美さんが選手の皆さんに激励のエールを送りました。

開会式後、9時にフルマラソンの部が葦ヶ峠脱藩コースを目指してスタートしました。続いて9時30分にハーフの部が下組折り返し、10時に10kmの部が宮野々折り返しのコースに向けて、各選手がスタートして行きました。葦ヶ峠付近では昨年同様に寒い中での応援となり、給水所では梶原学園、梶原高校の生徒による声援が選手たちを温かく迎え、選手たちは葦ヶ峠を脱藩して行きました。

また、ゴール付近では、梶原高



挨拶する坂本雄次さん（隣は西村知美さん）



選手宣誓をする西村義幸さん

各校によるメダル贈呈、選手写真のプレゼント、野球部によるハイタッチでの声援等、様々でした。表彰式は、その都度行われ、各部門3位までの選手にメダルと賞状、そして太郎川の伊藤辰子さんたちによる「神楽」の切り絵が授与されました。また、友好都市特別賞には、西宮市からフルマラソンに参加した乾晴行選手、梶原町の吉門志茂・徳子選手が選ばれ、西宮市田村局長から記念の楯が贈られました。

また、友好町村の盟約を結んでいる東吉野村からフルマラソンに参加された南達也選手に町制50周年記念として特別賞が授与されました。

各区長を中心に町内各種団体（梶原町商工会・津野山農業協同組合・梶原町森林組合・梶原消防団・梶原町婦人会・梶原龍馬会・梶原町スポーツ推進委員会・梶原町体育会・梶原女性消防隊・役場OB会、梶原学園・梶原高校等）の多くのボランティアの協力のもと開催でき、また沿道や田畑から手を振りながら、温かい声援をいただいたことにより、大会が盛り上がり、参加選手から高評価を得たと思います。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。

校生によるメダル贈呈、選手写真のプレゼント、野球部によるハイタッチでの声援等、様々でした。表彰式は、その都度行われ、各部門3位までの選手にメダルと賞状、そして太郎川の伊藤辰子さんたちによる「神楽」の切り絵が授与されました。また、友好都市特別賞には、西宮市からフルマラソンに参加した乾晴行選手、梶原町の吉門志茂・徳子選手が選ばれ、西宮市田村局長から記念の楯が贈られました。

また、友好町村の盟約を結んでいる東吉野村からフルマラソンに参加された南達也選手に町制50周年記念として特別賞が授与されました。



- 女子総合**
- ① 合田 睦美（愛媛県）
3時間13分18秒
 - ② 原田 真紀（徳島県）
 - ③ 峯野由美子（徳島県）

- 男子総合**
- ① 井関 智喜（愛媛県）
3時間1分30分
 - ② 戎井 正治（徳島県）
 - ③ 大宮 章弘（広島県）

【大会結果】フルマラソンの総合優勝者は次の通りです。

した。心から感謝申し上げます。選手の皆さんお疲れ様でした。



第3回 梶原町芸術祭

10月22日(土)、23日(日)の2日間、第3回梶原町芸術祭を開催しました。

今年度のテーマは「工芸・手工芸」とし、テーマに関わる催しを行いました。

22日はフリーマーケットや、まろろど館(役場旧庁舎)では、絵本の小部屋による「絵本のお部屋」と題した読み聞かせや音楽コンサートなどのイベントを行いました。あいにくの天気となつてしまいましたが、家族で楽しんでいる姿が多くみられました。

23日(日)は役場周辺で様々なイベントを行いました。

役場駐車場では、チェンソーアートの第一人者である村田浩一氏を兵庫県より呼びびし、午前10時よりチェンソーアートの実演、午後は町民の方が参加し体験教室を行いました。

実演では、1時間足らずで、立派な「キジ」が出来上がり、観衆の方から歓声があがりました。

体験教室では、7名の方が参加し、5つの丸太に大苦戦しつつも、それぞれの思い出に残る「フクロ

ウ」が出来上がりました。

役場アトリウムでは、日高村茂平窯より隅田健世氏を講師に招き、陶芸体験教室を行いました。参加された皆さんは思い思いに土をこね、形を作られていました。完成品が手元に届くのは約1か月後ですが、どんな作品に仕上がっているか楽しみですね。

また、ゆすはら座では、町民ステージを行いました。

オープニングでは、町民作品展で投票の結果最多得票を得られた



特別ゲストココサンによる読み聞かせで大盛り上がり

掛橋初子さんに梶原町町制施行50周年記念特別賞が贈られました。その後、「音楽と舞踊に酔いしれる」と題し、学園の児童生徒や町内の団体の皆様が日ごろの成果を発表しました。また、特別ゲストとして「高知ビッグバンド」の皆さんが登場し、ステージを盛り上げてくださいました。

ゆすはら・夢・未来館では海洋堂より講師の方に来ていただき「ジオラマ作成体験教室」を実施しました。大人も子どももすっかり作業にのめり込んでいました。

また、ロビーでは文化協会のお茶道サークルの方がお茶のお接待を行いました。



自分たちの作った作品と一緒に記念撮影(右2つは講師作成)



お茶のお接待。毎年大好評です。



「高知ビッグバンド」による圧巻の演奏



陶芸教室「何を作ろうか」考えながらこねます。

アート展・学童展

両日とも地域活力センターの2階では一般・児童・生徒による作品展も行いました。今年度も梶原学園に加え、梶原こども園・梶原高校生の作品展も同じホールで行いました。

どの作品もみな時間をかけて仕上げられた力作ばかりで、来場された皆さんは、真剣に見られていました。

学童作品入賞者は次の方々です。

硬筆の部

- | | | |
|-------------------------|-------------------------|------------------------|
| 3学年 | 2学年 | 1学年 |
| ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 |
| 上川 大智
下元 里奈
松浦 由依 | 安井 星愛
中岡しえり
矢野ひまり | 坂本こうこ
那須 巧
中越 沙侑 |

- | | | | | | |
|---------------------------------|------------------------|----------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 9学年 | 8学年 | 7学年 | 6学年 | 5学年 | 4学年 |
| ● 銅賞
● 銅賞
● 銀賞
● 銀賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 |
| 溝添 彩来
川田 果凜
藤井 嵐司
林 裕輝 | 戸梶 拓海
中岡 傑
立道 美鈴 | 川上 麻衣
高橋 桜子
前田 実柚
山崎 椋太 | 谷田 陽太
中越 天翔
山本みな子 | 川上 太陽
松浦 愛依
大川 優奈 | 川上 奏汰
片重 亜優
西村 光耀 |

毛筆の部

- | | | | | | |
|-----------------------------------|---------------|--------------------------|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 8学年 | 7学年 | 6学年 | 5学年 | 4学年 | 3学年 |
| ● 銅賞
● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 |
| 山本 雅人
中越 麻里菜
寺元 心美
二宮 生好 | 中越 郁也
廣瀬 琳 | 中越 大夢
藤井 奏汰
川田 慎之助 | 石川 愛大
廣瀬 拓治 | 花田 未郷
松本 美優
廣瀬 美羽 | 廣瀬 花乃
大谷 真穂
中越 美翔 |

図画の部

- | | | | | | |
|------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|----------------------------------|
| 5学年 | 4学年 | 3学年 | 2学年 | 1学年 | 9学年 |
| ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 | ● 銅賞
● 銅賞
● 銀賞
● 金賞 |
| 上川 咲
石川 愛大
吉村 佳奈 | 中岡 暖平
花田 未郷
川上 奏汰 | 大谷 真穂
森山 心遥
片岡 朋希 | 佃 瑚乃
安井 星愛
明神 旬 | 高橋 碧斗
中越 沙侑
西添 朱音 | 山崎 柁太
河野 悠介
下元 優希
川上 晋平 |

6学年

- 金賞 矢野 ひかる
- 銀賞 谷田 陽太
- 銅賞 下元 祥平

7学年

- 金賞 川上 麻衣
- 銀賞 山崎 椋太
- 銅賞 前田 実柚

8学年

- 金賞 中越 麻里菜
- 銀賞 下元 彩葉
- 銅賞 長谷部 稜馬

9学年

- 金賞 中岡 千尋
- 銀賞 中越 琳香
- 銅賞 藤井 嵐司

最後になりましたが、ご協力いただきました皆様のおかげで開催できましたこと、心よりお礼申し上げます。来年度も皆様からの多くの作品、また発表をお待ちしております。

梶原町芸術祭実行委員会

梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会 芸術祭でごみ減量を啓発！

10月23日（日）に行われた第3回梶原町芸術祭で、梶原町廃棄物減量等推進員がごみの減量や分別について啓発活動を行いました。

当日は推進員が訪れた方にクイズを出題し、梶原町のごみの現状やごみ出しルール等を啓発しました。梶原町からは毎月どれだけの可燃ごみが出ていると思いますか？正解はなんと約56トンです。これらのクイズに、集まった方の中からは「え！そんなにやうがや！」といった声も聞かれ、梶原町のごみ問題について興味を持っていただけました。

また、「使わなくなったがまだ使えるもの」を展示し、希望者に無料でお渡しする『くるくるショップ』を開催し、リユースによる廃棄物の減量に取り組みました。これは、ごみ減量の先進地である徳島県上勝町の取り

組みを参考にしたもので、おもちゃや食器、はんでん、木のダンベルなど様々なものが集まりました。これらは午前中のうちにほとんどが持ち帰られ、ごみになるはずだった約36kgのものをリユースすることができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会は、各区長および関係団体の長から推薦を受けた15名が、町長より委嘱を受け活動しています。

現在、適正なごみ出しの啓発および分別の徹底のため、推進員がごみ集積場の見回り等をおこなっていただいています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。



くるくるショップでリユース



クイズに答えてくれた方には可燃ごみ袋をプレゼント！

高陵消防連合会・ソフトボール大会

9月25日(日) 高陵消防連合会の消防団員及び高幡消防組合職員の合計132名が士気向上と連携を図ることにより、大規模災害等への備えに役立てることを目的として、高陵消防連合会ソフトボール大会が、須崎市横浪運動公園で開催されました。

開会式では、各消防団の団員33名へ高陵消防連合会会長表彰(功労章)の授与後、楠瀬須崎市長、高幡須崎市議会副議長、竹内高幡消防組合長から祝辞をいただき、須崎消防団の松浦団員による選手宣誓後、各消防団から1チーム、職員2チームの合計6チームが、優勝を目指し戦いました。



ソフトボール大会

梶原消防団からは、正副団長3名、各分団長、各分団から選抜の団員13名の合計21名が参加しました。初戦は、前回大会優勝及び優勝候補の須崎消防団と対戦し敗退。その後は、職員チームに大差で勝ち、3位決定戦では中土佐消防団と対戦。この対戦も大差で勝ち、前回大会同様3位の成績でした。団長及び副団長の中から唯一、梶原消防団だけ森田団長と川上副団長が、ピッチャー、選手として出場し、大会開催の第一目的である他消防団員と大いに親睦を深めました。



※大会結果は次の通り

優勝	須崎消防団
準優勝	津野消防団
第3位	梶原消防団

【高陵消防連合会会長表彰】

梶原消防団

第1	班長	若宮 康平
第1	班長	田尾 欣三
第1	班長	前田 和也
第1	団員	大崎 一統
第2	団員	長谷部 勇太
第3	団員	土釜 慎太郎
第3	団員	西村 宗格
以上7名		

梶原消防団危険予知トレーニング研修

(S-I-K-Y-T研修)

10月2日(日)「ゆすはら・夢・未来館」2階大ホールで、梶原消防団員72名が参加し、消防団員等公務災害補償等共済基金主催により、消防団員の公務災害を防止する目的で梶原消防団危険予知トレーニング研修(S-I-K-Y-T研修)を開催しました。

研修指導員4名は、福岡県から2名、松山市と高知市からそれぞれ1名来町していただき、1班5〜6名で13班に分かれ、決められた時間内の自己紹介、リーダーや書記等、

班内での役割分担を行い、災害現場に潜んでいる危険を見抜く力、危険に対する鋭い感受性を養うため、指導員から熱心な指導をいただきました。

また、「梶原消防団、ゼロ災でいこう、ヨシ!」「一人ひとり大切な団員、ヨシ!」「今日も元気で消防団活動、ヨシ!」と皆が大きな声を掛けながら、参加者全員で指差し確認を行いました。

災害現場で指揮を行う消防団幹部には安全管理義務が課せられています。事前に的確な危険予知を行い事故を未然に防ぐ事は、消防団員本人の貴重な身体を守る事に繋がることから、棚からホースを取り出す場合の危険や火災現場で足元にホースが延長されている場合の危険などを考え、意見を出し合い、各班でまとめ意見発表を行い4時間の研修を終了しました。



東京 雲の上の会来町



10月22日(土)永田周子会長はじめ40名の東京雲の上の会の皆さんが来町され、こども園の園児や地域の方々との交流が行われました。

維新の門群像前での写真撮影後、総合庁舎アトリウムでチーム梶原による「よさこい踊り」やゆすはら・夢・未来館で開催されていた芸術祭の作品展を観覧いただきました。

こども園にご一行様が到着すると、園児達はホールでお出迎えをし、3歳児から5歳児までの参加で交流をしました。皆様の前で、絵本のお話し遊びをして見てもらいました。3歳児は大型絵本「はらぺこあおむし」の話を音楽に合わせて歌い、4歳児は「ももたろう」の話を歌入りで発表し、5歳児は「ともだちや」の大型絵本を覚えてグループに分かれて発表しました。雲の上の会の皆さんも熱心に聞いていただき、時には手拍子をいれて楽しんで見てもらいました。また、日頃から楽しんでい

る曲で踊りも見えていただきました。雲の上の会の皆さんと一緒に楽しむコーナーでは、土釜弁護士、渡辺様の質問コーナーとして触れ合いの時間を過ごしました。子ど

もたちは「どんな仕事をしていますか?」「どんな遊びがすきですか?」「なんさいですか?」「こどもは、何人いますか?」などの質問をしていました。二人からは、子どもたちに分かりやすく楽しく回答していただきました。

プレゼント交換では、こども園から、子どもたち手作りのしおり、木のお守り、どんぐりごまのプレゼントを渡し喜んでもらいました。和やかな時間を過ごすことができました。

午後からは、津野山神楽保存会による津野山神楽を三嶋神社でご覧いただき、神楽を体験していただくなど、梶原の文化にも触れていただきました。

東京雲の上の会の皆様には日ごろ梶原町に対してご支援、ご指導いただいております事に感謝を申し上げます。また、子どもたちのためにたくさんのお本を送っていただき、楽しく、また仲良く読ませていただいておりますことにあわせて感謝申し上げます。



梶原町制施行50周年・ 梶原高校硬式野球部創部10周年記念 講演会・招待野球

10月1日(土)と2日(日)の二日間、梶原町制施行50周年並びに梶原高校硬式野球部創部10周年を記念して、講演会・招待野球を行いました。

一日目は、ゆすはら・夢・未来館で「高校野球とわたし」と題して、かつて松山商業高校の野球部投手として活躍された井上明さんにご講演いただきました。

井上さんは、昭和44年夏の甲子園に出場し、決勝で青森県立三沢高校の太田幸司投手と延長18回を投げ合い、再試合で優勝投手となった伝説の投手です。講演では、母子家庭で育った幼少期のこと、偏食だった選手時代を合宿で克服したこと、また体を壊して何度も挫折を経験したことなど、選手時代のエピソードをお話しいただきました。

なかでも、当時経験された厳しい練習の質と量が自信につながることに、また楽しんで野球をやることに自分の持っている長所を引き出すことにつながるなど、現役の

選手と指導者それぞれの立ち位置について、大切なメッセージをいただきました。

講演では、梶原町の未来大使である尾崎正敏さんに進行を務めていただき、高校野球連盟の正木陽さん、松山商業高校の重澤和史監督をはじめ、梶原高校、須崎高校、窪川高校の指導者・野球部員や梶原町民の方々など、県内外から総勢約200名余りの方に参加いただき、盛大に行われました。



井上 明さんの熱の入った講演

二日目には、松山商業高校を招待し、梶原高校野球部との親善試合を行いました。試合前に、「雲の上の町 ゆすはら」と刻まれた町産材のベンチが、松山商業高校野球部に記念品として贈られました。

始球式は矢野富夫町長が登板し、バッターボックスには井上さんが入り、当時の熱戦を彷彿とさせる緊張感のあるイベントとなりました。天候にも恵まれ、爽やかな青空のもと180名を超す熱心な野球ファンが観戦する中、試合が始まりました。試合は前半3対2と接戦になりましたが、梶原高校が8回裏のスリーランホームランで引



開会式

き離し、6対2で勝利しました。松山商業からは、野球に対する思いや日々の礼儀・挨拶の大切さ、野球を楽しむことを学びました。



矢野町長による始球式



スリーランホームランを放った北川選手

梶原学園

だより VOL 54

津野町・梶原町合同陸上記録会

10月14日（金）、秋晴れの下、津野町と梶原町との合同陸上記録会が開催されました。合同開催は、今年で2年目になります。葉山小学校、精華小学校、中央小学校、梶原小学校の4校合わせての陸上記録会です。

5年生の子どもたちにとって、初めての陸上記録大会でした。5年生の不安そうな顔が会場にありました。6年生の子どもたちにとっては、最後の大会でした。昨年の経験があっても、やはり緊張は隠せない様子でした。グラウンドに響く応援の声。その中で、自分の力だけを信じて競技しなければなりません。その胸中は、不安でいっぱいだったと思います。

しかし、子どもたち一人ひとりが全力でよくがんばったと思います。その原動力となったのは、仲間の声援と放課後がんばって練習した努力の積み重ねです。雨が続き、思うような練習ができませんでしたが、短い時間の中で、全力を出して取り組んで来ました。どの競技にも梶原小学校の5・6年生の代表選手が力を発揮し、たく

さんの種目で入賞しました。

陸上会場で見えて、全力で競技する様子がよく伝わってきました。ほとんどの子どもたちが、自己記録を更新し、その成長が何よりも嬉しかったです。

「努力して練習したら記録は必ず伸びる。」これからの大きな自信になったと思います。

子どもたちのがんばりを見ていて心を大きく動かされました。接戦を制してゴールした時は、喜びも最高潮になりました。遅くてもゴールを目指してひたむきに走る姿は、大きな感動を与えてくれました。子どもたち一人ひとりに心から拍手を送りたいです。感謝をありがとうございます！

1位に輝いた6年男子高跳び



激走を見せた6年女子1000m走

第17回梶原中学校剣道交流大会

10月16日（日）、第17回梶原中学校剣道交流大会を大越体育館で行いました。近隣の中学校剣士を招き、試合を通して相互の交流と技術力の向上を目指すために行いました。高知県内から11校、愛媛県内から7校、計18校が参加した大きな大会となりました。

体育館に集まった各校の剣士達。練習時から体育館は、熱気むんむんの様相を呈していました。そして、試合開始。試合は団体戦で行われ、気合の入った掛け声と竹刀を打ち合う音が会場に響いていました。

剣士の掛け声、竹刀の打ち合う音、床を踏み鳴らす音、振り上げられた竹刀が、力一杯打ち下ろされる様は、圧巻でした。勝負は一瞬で決まったり、勝敗を決するのは、大将戦までもつれたり、熱戦の数々でした。

我が校の中学3年生にとっては、この大会が最後の試合。剣道部3年間の集大成です。悔いの無いように全力で相手に挑む姿が、とても印象的でした。

試合結果は、女子は、善戦しましたが、残念ながら1回戦で久万中学校（愛媛県）に敗れてしまいました。男子は、1回戦、2回戦

を順調に勝ち抜き、準決勝で春野中学校に敗れました。しかし、第3位という栄誉を勝ち取りました。これまでの試合では、気合い負けすることが多かったのですが、今大会は、男女ともに相手の気迫に押されることもなく、前へ前へと気合いのこもった試合をすることができました。中学3年生にとって、最後の試合にふさわしい内容になりました。



3位入賞を果たした男子剣道部



大会終了後、みんなで記念写真

栲原こども園だより

お茶席

10月11日(火)、栲原お茶クラブの皆さんに来ていただき、幼児組が今年度2回目のお茶席を体験しました。

「お先に」「どうぞ」の譲り合いの精神や「頂戴いたしません」など、丁寧の一つ一つの所作を教えてもらっています。まだ小さな子どもたちですが、ちゃんとお茶席の雰囲気を感じ取り、正座をしてお抹茶をいただいています。



茶碗を回していただきます (ばんだぐみ：3歳児)

稲刈り体験

10月14日(金)、年長児組が、5月下旬に高校生と一緒に植えたお米の収穫をしました。

自分達が植えた苗が生長していく様子も見ていた子どもたちは、この日を楽しみにしていたようで、実際にお米を間近で見ると「いっぱいなっちゅう」と嬉しそうでした。稲刈り鎌の使い方も、「なかなか上手やね」と高校生に褒められていた子どももいました。

収穫したお米は、高校生がこども園に来てくれ、ぞう組の子どもたちと一緒ににぎりを作って食べるよう計画しています。

栲原高校の先生や生徒の皆さんには、毎年、子どもたちが貴重な体験をさせていただき感謝しています。



みんな夢中で刈っています

森のようちえん

10月20日(木)、年中児きりん組が初めて森のようちえん「矢崎の森探検」に行ってきました。森を歩き始めるとすぐに「おいがちがう!」という子や、「キノコみつけた!」「あっくり!」と好奇心いっぱいの子もたちでした。

役場の川村さんをはじめ、森林組合の方、自然や植物に



矢崎の森、だあ〜いすき!

詳しい中平さんなどたくさんの方の協力で、森の探検だけでなく、木登りやつる遊び、山の斜面滑りなどを安全に楽しんでくることができました。



ぼくもわたしものぼりたい!



ちょっぴりドキドキするからおもしろい!

インフルエンザ予防接種について

【目的】

インフルエンザは、ワクチン接種を行うことで発症そのものを完全に防ぐことはできませんが、罹患（りかん）しても症状の重症化を抑えることができ、合併症を併発したり死亡する危険性が抑えられます。国内では特に、65歳以上の高齢者および、60歳～65歳未満で基礎疾患を有する方など重症化しやすい方に対して接種の勧奨をしています。

梶原町では、1歳以上の町民の皆様により接種を受けてもらいやすいように、梶原病院や各診療所でのインフルエンザ予防接種を、次の通り実施しますのでお越しください。

【梶原町での接種予定日】 梶原病院

12月1日（木）・8日（木）・22日（木）

▼実施時間

午後2時30分～午後4時30分

松原診療所

11月28日（月）・12月12日（月）

▼実施時間

午前9時～午前11時30分

四万川診療所

11月22日（火）・12月6日（火）

▼実施時間

午前9時～午前11時30分

【接種回数】

- ① 1歳～13歳未満は原則2回接種
- ② 13歳以上は原則1回接種

【町内に住所を有する方の接種費用】

- ① 町内の医療機関で、接種日に接種する場合
すべての方が、200円負担で受けられます。

② 町外の医療機関で接種する場合

65歳以上の方が、広域委託医療機関で接種をする場合、自己負担額は千円になります。

それ以外の方につきましては、自費での接種になります。

【梶原病院での夜間接種について】

11月24日（木）、12月5日（月）

12月8日（木）

▼実施時間

午後5時30分～午後6時30分

学校や仕事の都合（但し、高校生以上）で予定日に接種ができない方を対象に、梶原病院で夜間接種を行います。（1日当たり150名の予約制）その際、保険証を必ずご持参ください。

夜間接種につきましては、梶原病院へお問い合わせください。

〈夜間接種の予約〉

梶原病院

☎0889-65-1115-1

※夜間接種の電話予約の受付時間
平日の午前9時～午後5時

〈夜間接種以外の問い合わせ〉

梶原町保健福祉支援センター

健康増進係

☎0889-65-1117-0

（IP **65-1170）

日ごろから感染予防対策が重要です。

- 手洗いやうがい
- 人ごみを避ける
- 休養とバランスの良い食事
- マスクの着用

※予診票は病院受付、保健福祉支援センターに用意しております。





オレンジリボンをご存知ですか？

11月は児童虐待防止推進月間です！

1 はじめに

近年、子どもの虐待に関する相談件数は増え、平成26年度には全国で約9万件近く（高知県内347件）になっていきます。相談の経路で一番多いのは「近隣・知人」が一番多く、まだ学校等に行っていない児童への虐待の早期発見に重要な役割を果たしています。

子どもの命が奪われる重大な事件も起こっており、子どもの虐待問題は社会全体で早急に解決すべき課題です。

全国的に毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、子どもの虐待防止運動に取り組んでいます。

2 子どもの虐待って？

子どもの虐待には、①身体的虐待、②心理的虐待、③性的虐待、④育児放棄（ネグレクト）の4つに概ね分けられます。

①**身体的虐待**：殴る・蹴る、火傷させるなど子どもの体を傷つける行為があたりります。

②**心理的虐待**：子どもの人格を否定したり、わざと人前で恥をかかせるなど、子どもの心を傷つける行為があたりります。

③**性的虐待**：みだりに子どもを裸にする、性的な行為をする・強要させるなどの行為があたりります。

④**育児放棄（ネグレクト）**：子どもに食事や衣服を与えない、お風呂に入れないなど、必要な育児を行わない行動があたりります。

共通点は「子どもの生命に危険を及ぼす」「子どもの健やかな成長や発達に影響を及ぼす」行為ということです。

子どもと過ごす時間が一番多い母親からの虐待が一番多くありますが、子どもの両親、きょうだいや祖父母、同居者からの虐待もみられます。

「育児に対して不安がある」「育児が大変」「どうしていいのかわからない」等『育児に対しての悩み』や、「経済的に苦しい」「精神的に不安定な状態にある」等『生

活に対しての悩み』等を相談できる場や相手がいないため、孤立している場合に起こりやすいといわれています。

3 私たちにできること

ほとんどの場合、望んで虐待していることはありません。「わかっているけど止められない」または「虐待だと気づいていない」ことも多くあります。

心配事や悩み事は、友人や家族など話せる方に相談して、一人で抱え込まないようにしましょう。町内には、ゆすつこ相談センターや保健福祉支援センターもありますので、利用してください。

また、近くで育児やその他のことでも悩んでいる人を見かけた時は、話しかけてみましょう。話しかけることが難しい場合や、気になる児童や家庭がある場合は、保健福祉支援センターにご相談ください。

加えて、虐待を受けていると思われる子どもを見つけた時は保健福祉支援センターや児童相談所に

連絡をしてください。通告者の秘密は守られます。

4 オレンジリボン

オレンジリボンは、2005年に始まった民間運動で、『お話ししましょう、気持ちを分かち合いませんか。自分の気持ちに気づくことは子ども虐待の予防につながります』というメッセージが込められています。オレンジリボン運動へのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

【悩み事などの相談】

保健福祉支援センター
☎0889-6511170

ゆすつこ相談センター
☎080-11999-2058

【虐待に関する相談】

高知県中央児童相談所
☎189

(全国共通・24時間対応)
☎088-866-6791

シルバー人材センター 奉仕活動 観光地スツクリ

本年は栲原町にとって、龍馬脱藩マラソン、グルメまつり、高原まつりをはじめ町制施行50周年、奥四万十博開催など、訪問者を多く迎える年になるとの思いで栲原町シルバー人材センターでは、初夏の6月から六志士群像の周り、掛橋和泉邸、太郎川公園石水の池や役場周りなど美観維持の為、奉仕活動の一環として、一つひとつ思いを込めて、剪定、草刈、清掃など実施させて頂いていただきました。奉仕の機会をいただきました誠にありがとうございます。感謝申し上げます。

(参加者総勢28名)



石垣の清掃

12月4日から10日までは 人権週間です

国際連合は、世界人権宣言の採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー」と定められました。

法務省及び全国人権擁護委員連合会は、関係機関等の協力を得て、「人権デー」を最終日とする1週間(12月4日から10日まで)を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重思想の普及高揚に努めております。

高知地方法務局及び高知県人権擁護委員連合会においても、今年度の人権週間行事のひとつとして、県内の主要箇所にて「特設人権相談所」を開設し、DV、セクハラ、ストーカーなどの女性に関する人権問題や、児童虐待、いじめ、体罰など子どもに関する人権問題、高齢者や障害者に対する差別や虐待、その他くらしの悩みごと等、人権に関する御相談をお受けします。相談は無料で、秘密は厳守します。

お気軽に、最寄りの「相談窓口」を御利用ください。

【問合せ】

最寄りの法務局又は市町村の担当窓口又は人権擁護委員まで。

12月の行事予定

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 7日(水) 人権相談・行政相談 | 20日(火) 栲原町交通安全の日 |
| 10日(土) 環境整備デー | 22日(木) 栲原学園2学期終業式 |
| 15日(木) 栲原学園校内持久走大会 | 27日(火) 消防団年末警戒パトロール(30日まで) |

12月の保健福祉支援センター行事予定

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1日(木) 松原サテライト | 13日(火) バリアフリークリスマス会 |
| 2日(金) 初瀬いきいき | 14日(水) あゆみの会 |
| 7日(水) 人権・行政相談(栲原病院3階) | 15日(木) 愛育相談・妊婦相談 |
| 8日(木) 越知面デイ友の会 | 16日(金) 東区いきいき |
| 9日(金) 四万川託老所 | |

○インフルエンザ予防接種日程

- ▶保健福祉支援センター…1日(木)、8日(木)、22日(木) 全地区対象
- ▶夜間接種(栲原病院)…5日(月)、8日(木) 午後5:30~午後6:30(予約制)
- ▶松原診療所…12日(月) 午前9:00~11:30
- ▶四万川診療所…6日(火) 午前9:00~11:30

※日程等につきましては、部落回覧にて周知します。

○毎週月曜日…予防接種(不活化ポリオ、四種混合、麻疹・風疹、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう)

※予防接種の時間が午後3時~午後4時30分になりました。(この時間の小児科の診察はありません。)

※9月より予防接種は予約制になりました。予約を取られる方は、栲原病院(☎65-1151)にお願いします。

○毎週水曜日…育児サークル(支援センター4F講義室) ○川畑 真理子 心理カウンセラー相談日…20日(火)

○ゆすっ子相談センター相談日…6日(火)午後、13日(火)午後、20日(火)終日

在宅生活おうえん事業

お家で過ごす高齢者や障害児(者)の生活を応援し、要介護状態への進行防止や自立生活の継続助長を図ることを目的として、補助を行っています。

○対象者

町内在住の65歳以上の高齢者及び障害児(者)。ただし、要介護・要支援認定を受けている方については、介護保険サービスの住宅改修及び福祉用具購入を優先し、障害児(者)については、障害福祉サービスが優先されます。

○補助内容

①と②の両方を利用可能。いずれも対象者一人につき、生涯に渡って、限度額まで補助金を交付します。

※1回の交付で限度額まで補助金を使い切らなかった場合は、2回目以降も残額を限度に交付申請が可能です。

①住宅改修：材料費の90%を助成

≪限度額63,000円≫
※材料費のみが補助対象です。で、工賃等は含みません。

②福祉用具：90%助成

≪限度額27,000円≫
※申請には、工事前・後の写真や、

材料代等や購入用具の領収書が必要で。

◇住宅改修の例

- ・手すりの取付け
- ・段差解消 など

◇福祉用具の例

- ・ポータブルトイレ
- ・浴槽手すり
- ・入浴用イス
- ・ベット手すり
- ・歩行器 など

【申請・問合せ】

申請の希望をされる方は、住宅改修の工事内容や福祉用具の種類によっては補助対象外となる事があるため、工事及び購入前に保健福祉支援センター福祉係までご相談ください。

保健福祉支援センター
福祉係 ☎65-11170

森林環境税に関する

「シンポジウム」開催のお知らせ

「2016KOCCHI森の県民シンポジウム」森林環境税どうするが?」を、左記の日程により開催します。

日時
11月26日(土)
13時30分～16時30分

場所

高知県立高知追手前高校
芸術ホール

内容

○ロギール・アウトテンボーガルト氏による「伝統手漉き和紙からのメッセージ」

○パネリストによる「山ほど語るデイスカッション」

○コーディネーター
塩田正興氏

(木と人・出会い館館長)

○パネリスト
中川睦雄氏

(こうち森林救援隊事務局長)

植村和暢氏

(工房刻屋木工職人)

堂本真実子氏

(若草幼稚園園長)

熊谷猛男氏

(株熊谷ファーム代表)

参加料

無料、直接会場にお越しください。

【問合せ】

高知県県林業振興・環境部
林業環境政策課 木の文化担当

☎088-1821-4586

戦没者等のご遺族の皆様へ 第十回特別弔慰金が 支給されます

○特別弔慰金の趣旨

第十回特別弔慰金は、平成27年の特別弔慰金支給法の改正案において、戦後70周年にあたり、改めて、今日の我が国の平和と繁栄の礎となった戦没者等の尊い犠牲に思いをいたし、国として改めて弔意の意を表するため、戦没者等のご遺族に特別弔慰金(記名国債)を支給するものです。

内容については、ご遺族に一層の弔意の意を表するため、償還額を年5万円に増額するとともに、5年ごとに国債を交付することとしています。

○支給対象者

戦没者等の死亡当時のご遺族で、平成27年4月1日(基準日)において、『恩給法による公務扶助料』や『戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金』等を受け取る方(戦没者等の妻や父母等)がない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に支給されます。

1、平成27年4月1日までに戦傷者戦没者遺族等保護法による弔慰金の受給権を取得した方

- 2、戦没者等の子
- 3、戦没者等の

① 父母

② 孫

③ 祖父母

④ 兄弟姉妹

※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。

4、1から3以外の戦没者等の三親等以内の親族(甥、姪等)

※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

○支給内容

額面25万円

5年償還の記名国債

○請求期間

平成30年4月2日まで

※請求期間を過ぎると、第十回特別甲慰金を受けることができなくなりしますのでご注意ください。

【問合せ・請求窓口】

保健福祉支援センター

福祉係 ☎65-11170

※請求書類等は保健福祉支援センターに備え付けています。

福祉サービスで悩んだり困ったりしていることはありませんか？

お困りのことがありましたら「福祉サービス困りごと解決委員会」にご相談ください。秘密厳守で対応させていただきます。

相談は無料で、受付は年末年始を除いた平日の午前9時から午後4時までです。

【問合せ】

高知県ふくし交流プラザ4F

高知県運営適正化委員会

(福祉サービス困りごと解決委員会)

高知市朝倉戊375-11

☎088-802-2611

FAX 088-844-3852

E-mail kaiketsu@pipikochi.or.jp

(FAXとメールは24時間受付)

くらしの悩みごと相談所

12月6日(火)は、高知よさこい咲都合同庁舎で「くらしの悩みごと相談所」が開催されます。同会場において、人権擁護委員が、地域住民の皆さんの様々な悩みごととの相談をお受けいたします。皆様、お気軽にお越しください。

日時

12月6日(火)

午前10時～正午

午後1時～午後4時

(相談受付は午後3時30分まで)

会場

高知よさこい咲都合同庁舎

9F 会議室

(高知市栄田町2丁目2-10)

相談担当者

弁護士資格を有する人権擁護委員

司法書士資格を有する人権擁護委員

相談内容

差別待遇、暴行・虐待、いじめ、DV等、家庭及び近隣関係等における法律・人権問題に関するあらゆる相談

その他

事前予約制です。左記お問合せ先にてご予約ください。

相談は無料で、相談内容の秘密は厳守します。

【問合せ】

高知地方事務局 人権擁護課

☎088-822-3503

編集後記

10月もイベントが多かったですね。スポーツに芸術にお祭りにと楽しませていただきました。そして、11月になり、カレンダーが今年もあと2枚しかないと思うと同時に、今年まだやり残していることはないか、年頭に立てた目標はどうだったか、実行できているか、今からでもやっておくことはないかと焦る気持ちになりました。

私はここ数年ですが、年の初めに一つ目標を立てるようになりました。そこでまた思うことは、やはり、続けることこそ難しいということですね。ラグビー日本代表のメンタルコーチを務めた園田学園女子大学教授の荒木香織さんは、目標の立て方について、今の自分より少し上、ちょっと頑張ればできそうな現実的な目標を立て、日々何に挑戦するのかを明確にすること。また、その際必ず期限を設けることが大切で、3カ月など、比較的近い時期での目標設定がいいと言っています。また、うまくいかなかったことを人は失敗と言いますが、できなければ違う方法を試す。その繰り返しで少しずつできることを増やしていけばいいんです。...

目標を達成できると嬉しく、次への活力も湧いてきます。焦った私は残りの日数で今自分にできること、頑張ればできそうなことをして、今年の目標に近づきたいと思っています。

広報編集委員

文芸



柚子の木俳句会

金木犀散華のごとく墓碑にふり

広瀬 みえ

杜さわぎ神楽餅まき秋まつり

西森 誠子

木犀の香に送られし通夜の客

佐竹 重子

さわやかや答礼しつつ走者過ぐ

西村由利子

秋刀魚焼くそばで待つのは親子猫

中越 郁子

大漁の記事に秋刀魚の季節くる

中平 忠雄

ランナーが刈田の集落貫けり

渡辺 瑞枝

長雨や虫にうちかち大根葉

中越 緑

県展や人の歩みの立ちどまり

中越 秋子

コスモスや一目散のペダル止め

広瀬 卓雄

杉の子俳句会

飛行雲一つ残して空澄みぬ

野中たねお

秋空に走り登るや葎ヶ峠

影浦 鉄心

朝歩き落ち栗拾う楽しみも

吉村 招山

悠久の流れに写す秋の空

西村 幸枝

留守の庭迎えてくれる石路の花

氏原 陽子

猫パンチ受けて動けぬ秋の虫

大崎みなと

ババ二人孫の話や秋深し

西村 蓉子

午後からは助っ人三人稲を刈る

久岡 智子

えぼし俳句会

たらちねの毛布被りて覚めてをり

千光寺昭子

篠笛の秋ぞ隔たる夕べかな

岩元 美美

天高し鳶は孤独を楽しめり

古野 節子

稲架の上の夫にさし上ぐ束重し

下村 弘花

音高くテントを仕舞う秋の果

下元 澄子

秋海棠母似と言われそう思う

ヒネ・バンビ

星月夜子らへの絵本そつと閉づ

宮崎真由子

夕日背に終の一本稲城杭

宇都宮由利子

秋霖の来るか土竜の穴あまた

中越 律子

墓の辺に群れ咲く野菊色の濃し

瀬戸口登貴恵

組み上げて子等の群がる稲城かな

西村 智子

雀らの稲架に群れしも懐かしき

温地あゆみ

釣瓶落としの余韻うつくし雲の彩

岩井 章子

寄付のお礼

このほど、次の方からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

ふるさとづくり寄付金として

篠藤 利雄様 (伊丹市)

皆川 律子様 (会津若松市)

松下 典正様 (新宿区)

広報へのご寄付

中平 正範様 (青森県むつ市)

その他のご寄付

鈴木 貴子様 (田野々)

故・鈴木祐吾氏 逝去に伴う香典返しとして社会福祉へ

中越 一長様 (宮野々)

故・中越藤恵氏 逝去に伴う香典返しとして社会福祉へ

西森 静子様 (中の川)

故・岩本朝美氏 逝去に伴う香典返しとして社会福祉へ

おめでた

住所	氏名	性別	出生年月日	保護者
川西路	中越 悠仁 <small>ゆうじん</small>	男	H28.9.25	中越 泰三
上成	安井 愛 <small>まな</small>	女	H28.10.13	安井 慶一
東町	森山 楓梨 <small>ふうり</small>	女	H28.10.18	森山 裕貴

※出生・死亡・婚姻については個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています。

おくやみ

住所	氏名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
島中	久岡 貞雄	男	H28.9.27	89	本人
初瀬本村	宮本 道恵	女	H28.10.1	78	本人
飯母	松山富士男	男	H28.10.11	78	本人
広野	宗崎 廣美	女	H28.10.11	86	本人
川西路	中平由利子	女	H28.10.24	92	本人
広野	森山 澄子	女	H28.10.25	98	本人
仲間	西村 務	男	H28.10.28	79	本人

2016 奥四万十博

四国カルストから土佐の大海原へ

Oku Shimanto

須崎市・中土佐町・四万十町・梶原町・津野町

2016.4.10 SUN - 12.25 SUN

奥四万十博

イベントカレンダー 12月

梶原町 ◆ゆすはらウインターイルミネーション

- 11月26日(土)～2月28日(火)
- 問合せ:梶原町商工会 ☎0889-65-0489



イルミネーション点灯式
11月26日(土) 17:10～

須崎市 ◆すさきX'masイルミネーション

- 12月1日(木) 17:00～1月4日(水) 22:00
- 問合せ:須崎商工会議所 ☎0889-42-2575

津野町 ◆アウトドアエクササイズ

- 12月24日(土)～25日(日)
- 問合せ:高原ふれあいの家 天狗荘 ☎0889-62-3188

四万十町

「2016奥四万十博」のクライマックスを飾る！ クロージングイベント

- 12月23日(金) 13:00～18:30
- 開催場所:四万十町窪川(旧四万十町役場跡)
- 奥四万十グルメはもちろん、イルミネーションや花火など…詳細は後日公式HPにて発表♪



奥四万十温泉郷スタンプラリー

- 12月25日(日)まで
- 雲の上の温泉(梶原町)、松葉川温泉(四万十町)、黒潮本陣(中土佐町)、山里温泉(須崎市)、そうだ山温泉「和」(須崎市)のうち、4施設(※山里温泉とそうだ山温泉「和」はどちらか1施設でOK)のスタンプを集めて、豪華賞品を当てよう！



発行所/高知県高岡郡梶原町役場
☎0889-65-1111
URL <http://www.town.yusuhara.kochi.jp/>
発行 兼 編集/梶原町役場 印刷所/南中島出版印刷